



題字：初代教頭 久保 豊先生



西風会第12回総会
第1回合同同窓会
平成5年1月2日
ホテルニューフロンティアにて

〈校章の由来〉



校訓

自立・連帶・創造

高松西高の西（WEST）の頭文字である“W”3つを重ねて、力強くはばたく翼によって、西高の輝かしい未来への飛翔を象徴したものである。

また3つの“W”は、生徒・教師・父母三者の堅い結束のもとに

“Wisdom through Work and Will”
(強い意志とたゆまぬ勉学を通して英知を磨く)という校風樹立の誓いをあらわしたものである。校章デザイン 土岐 孝氏
(昭和51年11月1日 制定)

校歌

「夢がかなう日まで～羽ばたけ西風会」
西風会会长 上村幸司 ①

② 校長 益田 勉
③ PTA会長 荒木忠之

「国際化時代を迎えて」

一、学舎に 風は流れて
常磐なる 松の緑よ
たくましき生命はぐくむ
若人の 願い切なり
ああ西高

自立の鐘をつよく鳴らせ

二、清らかに 陽光さしいで
仰ぎ見る 青垣山よ
悔いのなき今日を生きんと
若人の 声はこだます
ああ西高

連帯の輪を かたく結べ

薰風 ～恩師からのたより～

「暖かい一言」

ももたろうだより ～近況報告～

薰風 ～恩師からのたより～

「暖かい一言」

ももたろうだより ～近況報告～

目次

西方見聞録 ～西高からのたより～
かぜだより ～同窓会からのたより～

三、大いなる 希望の丘に
そびえたつ われらが母校
新しき時代を拓く
若人の 瞳澄みたり

創造の火を 明かく燃やせ
ああ西高



西風会会長

上 村 幸 司

(3期)

世の中は国際貢献・環境保護等がスローガンとなり、アメリカ大統領の交替、我国では皇太子殿下のご成婚、長引く不景気など数年分のニュースが一度にどっと押し寄せてきている昨今です。会員の皆様をはじめ母校の現・旧職員の皆様、関係者の方々はいかがお過ごしでしょうか。

いつも西風会のために物心両面からご支援をいただき、まことにありがとうございます。お蔭をもちまして当会は設立十三周年を無事迎えることができ、現在は設立十五周年発行に向けての名簿整理・会報発行などの活動を進めています。また今年一月一日には第十二回総会と記念すべき第一回合同同窓会を同時開催することができ、大変盛況でありますことをご報告申し上げます。

その総会でのスピーチで次のことを申し上げました。皆さんがお持ち

の夢の中に「西風会」への夢はありますでしょうか？人は夢があるから進んで行けるとも申します。お互いの夢を持ち寄り年齢が少しがらいたつても高松西高で教え、そして学んだ人達がつながり合い、自らが成長する中で母校や後輩達のお役に立つこと、これこそが私達の共通の夢ではないでしょうか。西風会はみんなで作っていく夢工場です。一つの夢が更に大きな夢になれば素敵だと思います。

今年はとり年です。同窓会設立十五周年に向けて羽ばたくための準備として、何点かの課題があります。一点目は記念名簿発刊のための名簿

整理です。西風会からの郵送物宛先は届く確率の高さから、すべて帰省先とさせていただいておりますが、それでも宛先不明の方が増加する一方ですし所帯を別にされている方へあえて送って二度手間を掛けさすのも疑問が残ります。また特に異動通知を下さった方については修正作業で応えてあげなければなりません。以上の事情も考慮して、名簿整理は今まで以上に留意が必要でしょう。

二点目は事務的な「総会」と親睦をはかる「合同同窓会」を分けて行なう試みです。「総会」は小規模でもできる限り毎年、「合同同窓会」は数年に一度の割合で開催すれば双方が長続きするのではないかと思われます。

三点目は運営スタッフをいかに充足するかです。すべての活動は人から始まりますので各期満遍に、本当に気楽に参加してもらえばありがたいことです。特に比較的時間の融通が取り易い学生の方や自営業の方にご協力いただければ心強いです。関連して、活動には必ず「お金」が付随いたしますので、皆様からお預りした「お金」を有効に活用させていただく事を改めてお願ひ申し上げます。

その他、活動の根本である規約の見直し、会報発行時期、入会金と年会費概念の見直しなどが挙げられますが、いずれにしましてもじっくりと検討させていただきます。

会員の皆様は何期のご卒業ですか？先日十四期生が入会しました。一回り以上違う方も結構いらっしゃいますね。学生、社会人、独身、結婚した人、子供が生まれた人、役職が付いた人、家業を継いだ人など様々な境遇のもとで私達は毎日を過ごしています。利害関係の少なかった、夢を持ち続けたあの西高時代にひとときでも戻り、また明日へと羽ばたく前の羽休めの場所でありたいと西風会は願っています。

皆様のご健康と母校・高松西高のご発展をお祈り申し上げ、ご挨拶と

「国際化時代を迎えて」

校長室

さて、生徒たちにとつて生涯の思い出となる修学旅行については、西高は、開校以来常に時代の先端を行くユニークな旅行を実施してきたわけですが、平成四年度は県下で初めて韓国への修学旅行を実施しました。ますます国際化が進展していく今日の時代にあって、生徒たちに国際的な関心と理解を深め、国際人として生きる自覚を強めてほしいとの願いから、杉岡保之前校長の下で企画されたものであり、事前の周到な準備などにより大成功を納めることができました。

平成四年の四月に本校に赴任して間もなく、西高名物の新入生屋島宿泊学習に私も参加し、寝食を共にしました。早朝から夜遅くまで、登山・カッター漕ぎ・勤労奉仕・キャンプ等ハードなスケジュールを、汗を流しながら頑張つてこなしていく生徒たちの姿を頼もしく思うとともに、ここに、西高開校以来の「鍛える」という教育方針が厳然と貫かれていたことを実感しました。

普通科高校として大学進学に向け勉学に励むことは勿論のことであるが、たくましい体や豊かな心を持つ人間になつてほしいとの願いから、「文武両道」をモットーにした西高教育が行われてきたわけですが、今 の西高生たちも、こうした期待によく応えてくれています。

大学進学の面では、平成四年春には、阪大六名を初め国公立大学合格者延べ二百五十四名、私立大五百五十一名という素晴らしい成績を挙げてくれました。

部活動も約三分の一の生徒が参加して活発です。運動部は、平成四年度は三人の四国チャンピオンが誕生しました。いずれも四国高校選手権大会ですが、陸上の百メートル・ハードルに植田淳子さん、水泳の百メートル平泳、二百メートル平泳に三木雅代さん、剣道の個人に花田彰君が、それぞれ優勝の栄冠に輝きました。文化部でも、中西洋三先生が長年指導してきたコーラス部が、全日本合唱コンクールに初めて出場し、銀賞

眼前に展開されているとの感を深くしました。

国際交流と言えば、今年度は私を含め三人の職員が米国で研修をし、また、米国から三人の教員と一人の生徒の本校訪問がありました。現在四人の本校生徒が、それぞれ米・英・加・インドネシアに留学中です。夏休み等を利用して外国旅行をする生徒も増えてきており、国際化の進展を感じます。

こうした時代にあって、国際理解教育を一層進めたいと考えています。いずれにしましても、高松西高の開校以来、先生方や生徒の皆さんが努力して築いてこられた伝統や校風を守っていくとともに、時代の進展に応じた教育を推進していきたいと思つております。

同窓生の皆様方のますますの御活躍を祈念いたしますとともに、母校西高に対する変わらぬ御支援をお願い申し上げます。

「暖かい一言」

PTA会長

荒木忠之

「梅一輪、一輪ほどの暖かさ」立春を過ぎると南北に長い日本列島の南の方から、春の訪れを告げる便りが届いて来ます。もうすぐ我が故郷でも梅によく似合うウグイスが見られそうです。

西風会々員の皆様には御健勝の事とお喜び申し上げます。西高も昨年創立十五周年を通過し、又新しい区切りの年度が始まりました。今迄以上に西風会の皆様と学校・PTAのより一層の連携が必要になって来るものと思われます。紙面をお借り致しまして宜敷くお願ひ申し上げます。

世界の政治はマクロからミクロへ、逆に経済のそれはミクロからマクロへ激しく渾沌としながら変化しようとしています。東西・南北対立から局地的民族紛争が多発し、宗教問題も絡み解決の糸口さえ見つかりそうに有りません。国家と民族、国家と宗教、島国と言われる日本では考えも及ばない様な複雑な問題が潜んでいる様です。しかし、これからは、この様な問題に対しても積極的に学び、対応して行かなければならぬのではと考えます。特にこれらの若者達は。「コメの自由化」を筆頭に自動車、鉄鋼、半導体と数えれば限りがない経済問題も同様、その底流には国家の存立基盤をも賭ける程の大きな問題を含みながら国家間の水面上下の取引が続いている。そして国内ではバブルはじけて、政治・経済絶不調。今年ももうすぐ西高から数百人の若者達が大学生として、社会人として巣立って行きます。未知の世界へと。93年1月末、西高P

TAと西高生徒会との話し合いの場が持たれました。固苦しい話はやめて、言いたい事を生徒諸君に語つてもらえればと。自販機、制服、カバン、自転車のヘルメットと先輩諸氏から引き継いだ(?)問題提起も多く有りました。そして彼らが本当は何を学校に望んでいるのか完全に理解したとは思っていませんが「充実した西高生活を過ごしたい。その為に生徒会に出来る事は何か」と自問自答する真摯な姿だけは心に焼き付きました。3W・文武両道を校是に創立して十五年、歴史と伝統をはぐくんで来た西高、今、それらを踏まえた上で原点へ。

先輩からのちょっと一言の暖かい助言が現在の学生には必要不可欠ではないかと考えております。激動の社会に生きている先輩諸氏から、激動の社会へ旅立とうとしている後輩に「春の様に暖かい一言」が。

「堂々たる道を」

塩井敏治

正倉院御物の組紐と、西高の校章を焼きつけた信楽焼の植木鉢に、今年も福寿草が咲いている。西高の開校記念式の折にいただいたその鉢に五、六十センチぐらいのやはり記念の品のキンモクセイの苗木を植えて数年を経たが、それでは年ごとに大きくなるキンモクセイが窮屈だろうと、直植えにしてからは、その鉢には、毎年福寿草が咲くようになった。紋様と校章を紺色で染めぬいたその植木鉢は、当初、来賓や生徒、職員に配られたものである。その鉢が数百軒にも及ぶ各家庭のどこかで、観賞用の木や花を育てているのかと思うと、それだけでも胸のときめくような思いがある。地におろしたキンモクセイは、今や二メートルにも伸び、秋には高貴な香りをただよわせてくれる。花が終わりに近づくと、根元の周辺は、明るいあんず色の花で円形に埋めつくされる。

先日、数年振りに西高を訪ねた。澄んだ空氣の中で、さわやかな風と、太陽をいっぱいに受けた山桃の樹林の成長ぶりに目を見張った。その樹林の根元のツツジも、驚くほどに密集していた。緑の燈芯を思わせる武道場横のコノテガシワは、太くたくましく堂々と立っていた。それらは開校当初、一回生が、地元の方々の指導を受けて、土曜日の午後に植え

たものである。その後、一回生から二回生、三回生へとかん水が引き継がれていった。

今、西高はまさにこれら大地に根を張った樹木のように躍進を続けている。五色台の木々の緑を背景に、豊かな自然に包まれた理想的な学園、運動部、文化部のはなばなしの活動、普通科高校としてのめざましい実績等、すべてに生徒、職員が一丸となつて取り組んだ創設期以来の懸命な努力が、年々後輩たちに確実に継承されているがゆえの成果であろう。五十五分授業と重点學習、屋島の宿泊學習、西高祭等と、他校とは一味違つた取り組みが、一すじの道になりやがてその道は堂々たる道になつてきた。その道を、私は、胸が熱くなるような思いで見守つてゐる。かつての一職員として、はたまた地元に住む者の一人として・・・。

躍進あれ西高！そしてそこに育つた西風会の皆さん、社会のそれぞれのポジションでさらなる力を發揮されることを・・・。そんな思いしきりのこのごろである。

昭和五十一年十一月から昭和五十九年三月まで在職。
初代教務主任。昭和五十五年より第二代教頭。



「西高はヨーガの震源地」

倉本英雄

ヨーガが心身の健康法として脚光を浴びるようになりました。公民館などでも人気講座となり、県下で約二百教室、五千人以上の人々がヨーガを楽しんでいます。まさに香川はヨーガ先進県そのもの・・・。このヨーガの震源地は、実は西高なのです。西高が開校して三年目の昭和五十四年にヨーガクラブが発足し、文化祭にも参加しました。ヨーガが公立学校で取り上げられたのは全国でも初めてのことだったので、新聞やテレビなどが大きく、頻繁に報道してくれました。このことがきっかけで、あちこちから講演依頼があいつぎ「物理」の先生をしていた私は、「ヨーガ」の先生へと・・・。嬉しいことに、ヨーガクラブそのものはなくなったものの、昭和五十五年から西高入学の一年生は、毎年全員ヨガを体験していました。西高卒業生が一番多く、とても懐しい思いです。ところでヨーガは、忙しい現代人の萎縮硬化した体をやわらげ、コリやシコリを溶かしてしまう「体位法」を備えています。また、浅くて、短く、弱い、不揃いな貧弱な呼吸習慣を改善し、命が喜ぶような力強い豊かな呼吸を取り戻し、自律神経を調和させる「調気法」を。さらに、張りつめ高ぶった神経を鎮め、心にやすらぎをもたらせる「瞑想法」も。つまり、「ココロとカラダとイキを調える」のがヨーガなのです。ヨーガは心身を「鍛える」というよりも、「調える」ことに主眼をおいており「動」よりも「静」

が中心のゆったりとした行法で、心の平静を目的としたものです。したがって、体力や性別、世代の違い、うまいへた等に関係なく、誰とでも一緒にコミュニケーションがはかれる利点をもっています。最近、ハイテク、ハイタッチという言葉をよく耳にしますが、技術革新（ハイテク）が進む中で失われがちな潤いのある人間関係や心の交流、ふれあい（ハイタッチ）がいかに大切なものであるかということが認識されてきたためなのでしょう。この時代の要請にピッタリなのがヨーガといえます。このようなこともあって、最近では、学校や婦人会、老人会、官公庁や企業などからも、ヨーガによる「心身の健康法」「自己啓発法」「能力開発法」の講演依頼がひっきりなしのあります。そして、社会的にも認知されるようになり、平成四年度の高松市文化奨励賞をいたゞくことにもつながりました。ヨーガの指導者も五十名近くになり、昨年には三回目のインド研修旅行を行いました。ところで、一年生全員が毎年行っているヨーガは西高同窓生の共通語ともいえるものです。同窓会などの会合では、必ずヨーガで心身をほぐしてから・・・というふうになることが私の夢です。誠実で眞面目、温かくて思いやりがあり、やる気充分・・・。このような人間像が受け継がれている西高が大好きです。ますますの発展を祈念しています。

昭和五十三年より三年間、物理担当。現在、香川銀行能力開発研究所長、香川ヨーガ道友会長、「ビジネスマンのためのヨガ入門」（日本生産性本部）「魂の住み処に灯りをともすメンタルタフネス」（西日本放送サービス）など七冊の著書がある。昨年六月より、四国新聞に「ココロとカラダづくり」を連載中。

雜感（卒業生の一人として）

大 藤 誠 司
(3期)

「西高とかけて、建築現場になかなか材木が届かないときと解く
そのところは、きがついたときにほつとする・・・イマイチやな」
などとあくまでもサゲをつけないと落ちつかない性分の私です。

学校というところは、单なる「出会いの場所」として作られたものに過ぎないよう私は思う。友人との出会い、恩師との出会い、学問との出会い、スポーツとの出会い・・・。そんな場で出会ったすばらしい人たち、すばらしい出来事、すばらしい経験に本当に感謝している。

だから、もちろんそんなすばらしい出会いを与えてくれた学校への感謝や愛情は、自然で純粹で大切なものだと思う。しかし、ややもすると、出会った人や出会ったことに対する愛情が、出会った場所である学校だけに対するものに置き替えられてしまい、学校という場所に対して、変に期待をしてしまったり、欲がかからんできたりするようになんだか恐い。「学校のため」「母校のため」という言葉は私はあまり好きではない。

私が西高と関わってきた、生徒としての三年間、そして教員としての二年間を今思うと、みんなが何か気負い過ぎていたような気がする。もちろんその努力の結果、今の西高があるのだろうけれど・・・。

私にとって、母校とは、布団のカバー、ベルトの最初の穴、中央通りのくすのき、レモンスカッシュのさくらんぼ・・・のようなものでいいと思っている。普段気付かないけれど、ふと気がつくとそこにあるもの。



ももたるうだより
近況報告

西風通信

(西風会第12回総会・第1回合同同窓会の出欠ハガキの通信欄に記入していた)
だいたものから掲載させていただきました。

西高も20周年が近づいてくる。伝統校になって、卒業生の社会での活躍がいよいよ期待されることを願っています。本校(坂出高校)にも卒業生が活躍していますよ。

旧職員・高木 新司

岐阜に来て6年になりますが、この4月より大垣西高に転勤になりました。

旧職員・藤吉真理子(吉村)

私たちの学校(穴吹カレッジオブビジネス)にも、高松西高の卒業生が何人も、教職員として勤めています。そのため、「穴吹西高会(穴吹西風会)」を作ろうかという話も出ています。西風会のご発展を心からお祈りします。

旧職員・高木 直孝

本年9月、1年余り在住したオランダのアムステルダムから、ホンコンへ転勤になりました。

1期・鈴木伸一郎

東京支部の集まり(同窓会)が最近無く寂しいです。高松を離れて10年以上過ぎました。早いものです。

2期・川端 和生

田中校長と共に東京支部発足にかけつけ(神田主婦会館)たり京都支部を発足出来たり、なつかしく思い出しております。

旧職員・平尾 元彦

4年7月から三重県に来ています。初めての土地ですけど、景色も食物も人情も、香川に負けないぐらい良い所です。仕事は相変わらずハードですが…… 1期・浅田 和伸

2期・中嶋茉莉子

香川中央高校で白井校長、山本教頭、川田監督と昔(?)西高で楽しく過ごした日々を思い

高知へお嫁に行つてもう7年。男と女の2人の子どもに恵まれ、仕事も充実し、楽しい日々を過ごしています。1期・片岡 規子(熊谷)

10月に長女七海(なつみ)が生まれ、私も人の親となってしまいました。毎日七海に振り回されて1日が過ぎてゆきます。

3期・島村 三和(赤銅)

出しながら週二日、英語を教えに行っています。

旧職員・村井 恵子

4年前に結婚し、名字・住所が変わりました。その際、はがきで連絡したと思うのですが、今だに実家(向井)の方に封書が届くようですが、すみませんが、松原あてでお願いします。

2期・松原裕美子(向井)

福岡で整骨院を開業して3年半が過ぎました。自営業なので長期の休みがなかなかできません。サラリーマンの人がうらやましい……。

3期・吉永 浩史

宇都宮の大学に入学する学生がいたら教えて下さい。いろいろお手伝いをしたいと思います。

3期・秋田 正人

4才と1才の子供に振り回され、慌ただしい毎日を送っています。入社して9年になりますが西高の後輩が何人か入ってきたことが最近嬉しく思います。それだけ、自分が年をとっていることは悲しいが……。

3期・小西 宏美（小倉）

今年はコーラス部が四国代表になったとか：うれしい限りです。皆さんにお会いしたいですが、秋に結婚したばかりで、多忙なお正月になりそうなので今回は残念ですがみなさんによろしくお伝え下さい。

4期・植村 篤子（宇田）

平成5年は我3期生も30才を迎える年ですね。私の職場には未だ私以外に西高生がいないのが寂しいです。御近所の市役所には支部ができるほどいらっしゃるとか：うらやましい限りです。先輩、後輩の皆様有望な人材をぜひ、ご推薦下さい。3期・西村美也子

もう3才の子持ちで、名古屋でがんばって

ます。名古屋に来ることがあつたらぜひ連絡下さい。

3期・飯森 康司

長い間ごぶさたしておりました。今回の同窓会を機会に、時間の許す限り、西高OBの方たちと交流を図りたいと思つておりますのでよろしくお願ひします。ついでに一言。一九四四年十月広島でアジア最大のスポーツの祭典、アジア大会が開かれます。皆さん、興味を持って広島に目を注いで下さい。

4期・浜田 公司

引越ししましたので、住所、TEL変更お願いします。古馬場近くでよく同窓生に会います。バブルがはじける前までは、ひんぱんだったけど、このところはちょっとネオンに足が遠のく、といった感じです。

5期・真鍋 佳樹

92年1月5期生天堵和美と結婚。

5期・吉田 耕造

通勤の電車etc 西高生の人を見かけると（校章でわかります）Wのバッジをみるとウレシイとても懐かしく思います。

6期・千葉 美紀

高校時代のクラスメートも（仲の良かった人しか知りませんが）ほとんど結婚してしまいました。電話1本ですぐ会えていた友人も家事、育児と忙しそうです。私も入社6年目となり、仕事が楽しく毎日に張りがあります。

4期・土居由起子

大学卒業後、関東に就職したので知り合いが少く、寂しく感じております。

7期・岡 育久子

H3・3・21に結婚し、今は、1児のパパになりました。愛娘の名前は祐梨香（ゆりか）で、ハイハイをしたりつかまり立ちをしたり元気いっぱいの女の子です。

4期・大石 桂司

6月14日に結婚しました。気持ちは高校時代と変わっていないうつむきなのに時はどんどん過ぎていきます。みんな、どうしていますか?

7期・薬王 仁美(松本)

大学時代の専攻を活かし、土木構造物の設計に忙しい毎日です。当社にも西高出身者が数名いますが、ともにがんばっています。

7期・植松 正美

小豆島で元気で頑張っています。いつか母校へ帰りたいと思っています。いつまでも母校の発展を祈っています。

7期・白井 良枝

高校時代の友人とは、なかなか連絡のとれない状況です。みんなどうしているのかなあと思うものの、地元にいられないせいかって、時々うわさをきくといったところです。県外でも、西高を知っている人も時々いますが、野球で甲子園に行つたことで知っている人が多いようです。

8期・松田 珠見

七月に結婚しました。来年には赤ちゃんも生まれます。仕事と家事と両立するのは大変ですが、がんばります。

9期・大岡由紀江(志摩)

香川県庁に就職が決まっております。

10期・小林 弘美

お茶席にも参加してきましたけど…まだ知っている先生方もおいで楽しかったです。

8期・玉岡 美子

今年四月からアフリカ・ケニアへ留学。大學は4回生を1年休学しています。現在、まだナイロビに住んでいますが、来年四月に復学するため帰国します。

9期・藤田 直子

時々「ワー、自由になりたーい」と雄叫びをあげたい衝動にかられたり、おセンチになつたりと、気持ちがコロコロ変わっていくのが自分でよく分かる。毎日なにかしら笑つたり、怒つたり、ふてくされたり、悲しかつたり、迷つたり、そうこうして平凡な日常生活を送つて

ます。で、フト自分が社会人で働いて、お金をいただきて、生活しているのが不思議だな」と思う。

9期・泉田亜希子

毎日頑張って社会人しています。良い上司、先輩、仲間に囲まれて学ぶことの多い生活でない状況です。みんなどうしているのかなあと思うものの、地元にいられないせいかって、時々うわさをきくといったところです。

9期・片岡真樹子

15周年でにぎわっていた西高のうわさを聞いて、卒業して4年もたつと遠い昔のようです。ヘルメットを自転車にひっかけている姿をみると、にんまりとなってしまう今日このごろ。来年から社会人です。

10期・仁井田朝希子

来年四月からの勤務先は、㈱四国情報通信ネットワークです。

10期・小比賀裕子

一九三四年四月一日現在龍谷大学理工学部の2回生です。要望として、同窓会々員名簿はできるだけ新しいものを発行する様にして下さい。又、同窓会は春休み中にしてもらえれば幸いです。

11期・高見 武士

西風会の会報などの封書（郵便物）は本人現住所宛に送つて下さることはできないのですか？できればそうしてもらいたいです。せっかくの同窓会にも参加したいし、直接本人に送つて頂ければ幸いです。

11期・日野 綾子

両親の転勤の為大阪に引っ越しました。11期生の2組のみんな元気ですか。今は晴れています。自宅生//いつか又会える日を楽しみにしています。

11期・入江 満子

けっこう元気にやつてます!!

12期・厚見 誠一

ばちばちやつてます。

12期・高尾 啓一

広島に就職が決まり、もう香川には戻らないことになりました。もうすぐ成人式なので、久しぶりにみんなに会えるかな？

12期・植松 夏子

自分も高校時代から続けていたアーチェリーも幹部交代により引退してしまいました。しかし時間の許すかぎりは続けていこうと思っております。また、九州の火の国熊本に2年半もすんでいると、讃岐弁と九州の言葉がごちゃごちゃになつていて今日このごろであります。

11期・井下 一郎

会員名簿についてですが、一人暮らしをしている人もいますので、あまり細かく載せないほうがよいかと思います。

13期・丸山 典子

大学も3年後期という山場を迎える受験期と同じくらい勉強している気がします。でも、やっと将来の進路を見定めたのがんばろうと思つてます。

11期・杉本 英子

実家が高松じゃないというのは寂しい限りです。まあ、転勤族なので仕方がない。まだ岡山くらいだつたら近いんでマシな方でしよう

13期・樋川 真理



平成四年度の西高修学旅行は、なんと海外へ!!
行先は、隣国の韓国でした。名所・旧跡の訪問のほかにも、韓国の高校生との交歓会など、生徒にとつては非常に有意義な旅行だったようです。そこで、生徒たちの韓国修学旅行の印象を生徒文集から引用してみまし
た。

西高、初の海外修学旅行へ

西高見聞録　～西高からのたより～



韓国修学旅行の思い出

終わってみてから言えること

：何事も終わってみてから文句や意見が言えるものである。この修学旅行もそうである。交歓会が一番印象に残ったかと思うので、これについて書いてみたい。

交歓会に臨んだ西高生の誰もが「英語力の無さ」を思い知らされた。韓国の高校生方は流ちょうに英語を喋り、単語のストックも随分あった。それでも、我々の下手な英語の会話文を懸命に聞いてくれたのがとてもうれしかった、と我らは感じたものだ。しかし、あれほどまでに英語を自分のものにできるとは。勉強とかにすごく積極的なのだろう。その辺が我らと違うのかな。

近頃は「国際化時代に生きる国際人として…」というのをよく聞くが、この交歓会をとってもまだまだ「国際人」とはいえない（：その自覚は少しは持てたようを感じるが）。旅行のねらいじゃないが、国際化っていうのはそれぞれを認めあって、そしてそれぞれの長所短所を補いあうということではないのだろうか。「他者を認める」というのは難しい。どちらかを認めないとということは、その人が利己主義で、ヘタをするとケンカすることにもなりかねないのだから。

やはり外国へ旅行する時には、旅行先の国のことを探しておかないといけないと思うし、長い間バスの中というのもあまりよろしくないかな：とも感じるが。

そういう偉そうに言っている筆者も、英語の勉強は「大学に合格するため」ではなくて、「外国に行つても困らないように」とか「会話の一つの手段だ！」と思わないといけない。しかし、言っていることは必ずしも間違ってはいないはずだが。

旅 程 表

日	月日(曜)	行 程	宿泊地	備考
1	5月9日 (土)	行 福山西SA——三次IC——安佐 SA 09:10 09:25 10:55 11:30 12:10 13:45 14:00 学校発——坂出北IC——道口PA——三次IC——江の川 PA 07:30 08:50 09:05 10:40 10:50 11:00 11:20 12:00 13:45 14:00 美東SA——下関港~~~~~ 15:15 17:00 釜門フェリー	[船中泊]	
2	5月10日 (日)	行 釜山港——古墳公園(1号～7号)——昼食(巨亀荘)——ショッピング——石窟庵——仏国寺——ホテル 07:30 11:10 12:10 12:40 13:20 14:30 14:50 16:00 16:20 17:30 17:40 専用バス A班 古墳公園(8号～11号)——昼食(森園会館)——石窟庵——仏国寺——ショッピング——ホテル 11:10 12:10 12:40 13:20 13:50 14:50 15:10 16:10 16:30 17:20 17:40 B班 写真 夜、古典舞踊鑑賞	[宿泊] 慶州コーロン ホテル 住所: 111-1 Ma-dong Kyongju Kyongsangpuk-do TEL: (0561)42-9001 / 4	
3	5月11日 (月)	行 朝食06:20 ホテル——慶州駅——ソウル駅——セマウル号(弁当) 07:10 07:40 08:00 12:15 12:40 A班 景福宮(写)——ショッピング—— 13:00 14:00 14:10 15:00 B班 ショッピング——景福宮(写)—— 13:00 13:50 14:00 15:00 チョンダム高校との交歓会——夕食(佑汀)—— 16:00 17:30 18:20 19:00 ホテル 20:00	[宿泊] ソウル文化センター 住所: ソウル王城區 202 TEL: (02)572-8104	
4	5月12日 (火)	行 朝食06:50 ホテル——オリンピック競技場——国立博物館——昼食(巨亀荘) 08:30 09:00 09:30 10:30 11:30 11:40 12:10 ソウル(金浦空港)——チャーター便——新高松空港 12:40 2機に分乗 15:00～16:00(予定)		

交歓会

私が本当に韓国へ行つて良かったと思ったのは、チョンダム高校での交歓会だった。

最初は言葉がちゃんと通じるかというような不安があった。グループに分かれた時は、どちらの生徒も何となくぎこちない感じだつたけれど、自己紹介をしてから、韓国の生徒の人から、色々と質問してきてくれた。すごく英語が上手なのに驚いた。私は本当はもっと話したいことや聞きたいことがあったのに、言いたいことが言えなくて恥ずかしいなと思った。

帰るときになると、せっかく仲良くなれたのに、もう帰ってしまうのが、すごく残念だった。私達のうちの一人の子が "I have a very good time." と云うと、すぐ喜んでくれたのが、とても印象的だった。

早く手紙を書いて、話せなかつたことを伝えたい。

修学旅行レポート

今回の韓国修学旅行のレポートで、私は韓国の気候と人々について書きたいと思う。

まずは気候についてであるが、韓国の気候は隣国ということもあって、あまり日本の気候と変わらない温暖な気候である。違う所をあげるとするならば、それは風である。大陸にある韓国の風は日本と比べてどこか

乾いたようなところがあるようだ。

そのような気候の中で生活している韓國の人も気候とよく似た、温厚で明るく、カラッとした人が多かった。修学旅行前に考えていた「きつくてこわい」という韓国の人々とは全く違っていた。見た目にも日本人とあまり変わらない。しかし内面的には、日本人よりしっかりしているので「きつくてこわい」というイメージが浮かぶのかもしれない。

修学旅行で韓国の文化を少しでも見られてよかったです。またそれ以上に、このようなよいものをもつ韓国の人々に会えてよかったです。



チョンダム高校での交歓会にて

俳句

五月雨に うたれてゆれし 船の旅

朝やけに きらりとひかる 緑の大陸

船窓に 大陸の朝 明けてゆく

春風と ともに旅する 韓国路

仏国寺 寺にかかる 天の羽衣

海越えて つなぐ手のひら 春の旅

短歌

青ざめて まだかまだかと 時計見る

忘れもしない あの船の夜

早春の みどり色づく 寺の道

色あざやかな 衣ちらほら

古墳公園 その姿こそ 自然なれ
いにしえの栄耀 つつむがごとく

詩

古き都よ

初めて訪ねたこの土地に
なぜこんなにもなつかしさを
覚えるのか

故郷の香りのする

古き都よ

血ぬられた過去を想い
涙を流そう

そして、ふれあえた
心の喜びに感謝しよう

今、私たちは

未来への第一歩を
ふみしめたのだから



部活動だよ〜

東四国国体に向けて

陸上部 植田淳子

いよいよ香川・徳島両県で開催される東四国国体が近づいてきました。

十月二十四日よりはじまる東四国国体秋季大会に、西高から三人の先生方が選手として出場される予定です。その三人の先生方の紹介をします。

岡本孝士先生は、九人制バレーの大砲役として活躍されています。一㍍の長身からのスパイクは威力十分。昨秋の山形国体での香川県選抜チームのベスト4進出の原動力となりました。また岡本先生は校内では男子バレー部の顧問として熱心な指導をなされ、県内の有力チームにひけをとらぬ好チームをつくりあげるなど、バレー部にかける情熱は素晴らしいものがあります。

橋本実先生はサッカーのMFプレーヤーです。50m走6秒2の快足を生かし、チームの中心選手として大きな役割を果たしています。練習試合中にじん帯損傷という大怪我を負いましたが、不屈の闘志でそれを乗り越え、堅実なプレーで監督から絶大な信頼を得ていると聞きます。

最後に湯沢純一先生。湯沢先生は岡本先生を上回る一㍍の長身をフルに生かし、バスケットボール選手として活躍されています。以前に全日本代表候補にまでなった実力者で、山形国体では惜しくも準優勝に終ったもののポイントゲッターとして大車輪の活躍をみせてくれました。

三人の先生方の他に、先の冬季大会のスキーのクロスカントリー種目に白川直美先生が出場されました。

日頃、授業等で疲れ、勤務を終えたあと、自身の練習に参加される先生方にご声援下さい。

三年間の部活動を終えて

西高のグラウンドを初めて走った日から、もう三年になろうとしている今、振り返る私の高校生活は、部活動により、大変充実したものとなつたように思われます。

私は百メートルハードルを専門種目とし、この三年間日々の練習を重ねてきました。そして今年は幸運にも四国総体で優勝することができ、インターハイ、国体への出場権を得ることができました。県内で入賞することもできなかつた一年生の頃から考へると信じられないような事でした。しかし、そういった結果を得られるまでの間というのは、楽しい事ばかりではありませんでした。自分がしてきた事に対する結果が出せず、目標を失つてしまい、自分自身に諦めを感じる時もよくありました。しかし、そんな時の部員や先生の暖かい一言や厳しい一言は私にとって大変重要なものとなりました。

そうして得られた全国大会への出場というものは、私の視野や物の考え方を何倍にも大きくしてくれた経験でした。自分よりも優れた技術や力を持っている人を目前にし、今まで私の見てきた世界の小さいことを、強く感じさせられました。

この事は、部活においてだけではなく、私の人生にとつて大変大切な経験となつたように思います。こういった刺激や感動を求める、大学生活をより一層充実したものとなるよう、努力して行きたいと思います。

●行事予定(平成4年度)

	全校行事	1年	2年	3年
4月	6(月) 始業式 7(火) 入学式 15(火)-21(火) 西高交通安全週間 20(月)-24(金) 西接週間 18(土) P T A 役員会	7(火) 入学式 9(水) 心電図検査 9(水) オリエンテーション 10(木) // 14(火) 課題テスト(3科) 中旬 開接撮影 下旬 内科検診 27(月)-5/2(土) 鹿島宿泊学習	6(月) 始業式 14(火) 課題テスト(3科) 下旬 内科検診	6(月) 始業式 14(火) 課題テスト(5科) 15(火) 選足
5月	1(土)-2(日) 西高交通安全週間 20(火) P T A 総会 学級懇談会 中旬 中間考査	4/27(月)-2(日) 鹿島宿泊学習	9(土)-12(火) 修学旅行	9(土) 第1回校外模試 10(日) (記述式5科) 中旬 内科検診
6月	1(月)-6(土) 西高交通安全週間 5(水) 県総体開会式 6(土)-8(月) 県総体 18(火)-25(火) H R 週間 20(土)-21(日) 四国総体	23(火) 第1回校内実力テスト (3科)	23(火) 第1回校内実力テスト (3科)	6(土) 第2回校外模試 7(日) (マーク式5科) 23(火) 第1回校内模試 24(火) 第1回公務員模試
7月	-3(金) 西高交通安全週間 4(土)-8(火) 期末考査 14(火)-15(火) クラスマッチ 20(月) 終業式 21(火)-28(火) P T A 個人懇談	12(日) 第1回校外実力テスト (国・数・英 3科) 21(火)-27(月) 夏期講座	12(日) 第1回校外実力テスト (国・数・英 3科) 21(火)-27(月) 夏期講座	11(土)-12(日) 第3回校外模試 (記述式5科) 18(土) 第2回公務員模試 21(火)-30(火) 夏期講座
8月	1(土)-10(月) 全国総体 (宮崎県)	26(火)-29(土) 夏期講座	26(火)-29(土) 夏期講座	21(金)-29(土) 夏期講座
9月	1(火) 始業式 2(火)-5(火) 西高交通安全週間 18(金)-20(日) (18金)体育祭 (19土)文化祭(非公開) (20日)文化祭(公開) 22(火) 振替休日	1(火) 第2回校内実力テスト (国・数・英 3科)	1(火)-2(火) 第2回校内実力テスト (5科)	1(火)-2(火) 第2回校内模試 第3回公務員模試 12(土)-13(日) 第4回校外模試 (記述式5科) 中旬 一般企業入社試験 下旬 国家公務員試験
10月	1(木)-6(火) 西高交通安全週間 8(木) 選足 22(火)-27(火) 中間考査 中旬 生活時間調査	中旬 進路適性検査		1(木)-2(金) 第3回校内模試 第2回小論文模試 10(土)-11(日) 第5回校外模試 (記述式5科) 中旬 県職員試験 下旬 大学入試センター試験出願 31(土) 第6回校外模試 (記述式5科)
11月	1(日) 創立記念日 2(月) 創立記念芸術鑑賞会 2(月)-6(金) 西高交通安全週間 6(金)-12(木) ホームルーム週間 12(木) 統一 L H R P T A 役員会	1(日) 第2回校外実力テスト (国・数・英 3科) 18(火) 第3回校内実力テスト (国・数・英 3科) 下旬 教育課程説明会 コース選択説明会	1(日) 第2回校外実力テスト (国・数・英 3科) 18(火)-19(木) 第3回校内実力テスト (国・数・英・理 4科) 下旬 教育課程説明会	1(日) 第6回校外模試 (記述式5科) 7(土)-8(日) 第7回校外模試 (マーク5科) 18(火)-19(木) 第4回校外模試
12月	-3(木) 西高交通安全週間 4(金)-8(火) 期末考査 24(木) 終業式			25(金)-26(土) 冬期間頃演習 21(月)-25(金) 保護者懇談会
1月	8(火) 始業式 11(月)-16(火) 交通安全週間 26(火)-29(金) 保護者懇談会	8(金)-11(月) 校内実力テスト 11(月) 第2回コース選択予備 調査 24(火) 校外実力テスト 26(火)-29(金) 保護者懇談会 18(月)-23(土) 生活時間調査 30(土) コース決定	8(金)-11(月) 校内実力テスト 11(月) 第2回コース選択予備 調査 24(火) 校外実力テスト 26(火)-29(金) 保護者懇談会 18(月)-23(土) 生活時間調査 30(土) コース決定	5(火)-6(火) 直前対策模試 16(土)-17(日) 大学入試センター 試験 23(土)-24(日) 上記追試験 23(土)-25(月) 卒業試験 25(月)-2月2日(火) 二次出願 26(火)-29(金) 保護者懇談会
2月	1(月) 全校朝礼 1(月)-6(土) 交通安全週間 9(火)-12(金) 入学願書受付 17(火)-19(金) 志願変更	12(金)-18(木) H R 週間 18(金) 統一 L H R 26(金)-3月2日(火) 期末考査	12(金)-18(木) H R 週間 18(金) 統一 L H R 20(土)-21(日) 校外実力テスト 26(金)-3月2日(火) 期末考査	25(木) 前期日程・A日程入学 入試
3月	8(月) 卒業式 11(火) 入学者選抜学力検査 12(金) " 面接 19(金) 合格者発表 22(月) 合格者招集	19(金) 卒業式 下旬 春期講座	19(金) 卒業式 下旬 春期講座	5(金) B日程大学入試 8(月) 卒業式 8(月) C日程大学入試 12(金) 後期日程大学入試
	4月7日(火) 入学式	4月6日(火) 始業式	4月6日(火) 始業式	

か
ぜ
だ
よ
り
♪ 同窓会からたより ♪

「第十二回西風会総会・第一回合同同窓会」

実行委員長 吉野正晃
(3期)

今回の総会は、西風会発足以来はじめて、一月の二日、ホテルニュー
フロンティアにおいて開催させて頂きました。お正月であるせいか県外
から帰省されている会員の皆様の参加も多く、参加者は百三十名程で近
年では最高の出席率になりました。

ここで総会の内容について申し上げます。まず、現校長益田先生、元
教頭塩井先生、前校長杉岡先生から西風会へ、また会員へ、熱いメッセー
ジをいただき、つぎに支部報告、会計報告、監査報告を行い、スムーズ
に総会は終了いたしました。

すでに西風会会員は六、〇〇〇名を数える程になり、「会員の交流の場を」
という声も高まり、今回総会にひき続き第一回合同同窓会を開催させて
頂きました。

恩師の方々をはじめ、一期生から十三期生まで多数の会員皆様のご出
席を賜り、盛大な同窓会となりました。会場内では各期ごとに固まって
しまうかと心配しておりましたが、ビンゴゲーム等のアトラクションや
校歌の齊唱などがはじまると、期を越えての交流が自然と行われていま
した。合同同窓会は第一回ということもあり、何かと不行き届きな点が

あつたと思いますがご容赦ください。また、お気付きの点がありました
ら、ご意見ご要望を西風会の方までいただければ幸いです。

最後になりましたが、総会、同窓会を開催するにあたり、ご尽力くだ
さいました関係各位の皆様、並びにご出席頂いた先生方、会員の皆様に
感謝の意を表します。ありがとうございました。



「第10回高松まつり総踊り参加報告」

西口功一郎
(13期)

いったい何人の人が踊りに参加するのだろうか、とある意味で期待しながら高松まつり最終日、総おどりに参加しました。参加人数に関しては、例年、参加する人は少ないと聞いていたし同じ13期の人に聞いてみてもやはり、「出る」と答えた人はおろか「出ようかな」という人さえいなかつたので本当に心配しました。

当日、天気は小雨、ますます人が少ないのでないかと思って早めに集合場所である県立図書館前に行ってみると案の状数名、それでも少しだいに人数は増えてゆき記念撮影、市水道局前に集まって7時開始、前半一時間は「瀬戸の都・高松おどり」、後半一時間は「さぬきおどり一合まいた」でした。高松おどりは今まで参加していない人や13期生達にとって知らないどころか見るのが初めてという人も多く、前や横の連を見ながら恐る恐る踊っていました。そしてどうにか踊れるようになり、体もほぐれてきたところで「一合まいた」に突入、これはさすがにみんな知っているのでけっこうまとまって踊れたと思います。今年は天気のつごうで終了する数分前、市役所がもう見えている所でいいにく雨がはげしくなり中止となりましたが、その雨の中、声をはりあげて精一杯踊っていました。

今年の総おどりは雨で中止にはなったものの内容としては、十分成功したものと思います。ただ、参加数で言えば二十数名、少しさびしいも

のです。来年こそ、もっとたくさんの方々の参加、よろしくお願ひします。最後になりましたが、上村会長をはじめとする諸先輩方、実行委員の方々、参加してくれた会員の方々、声援をおくってくれた方々、本当にありがとうございました。



平成四年度

西高コーラス部OB会活動報告

永尾 幸
(11期)

今年度は西高コーラス部創部十五周年の年で、毎年8月に開いている夏の演奏会も第十回目を迎えることになりました。そこで、これを機会に何か記念になることをしよう、ということで、西高コーラス部の十五周年記念誌や、愛唱歌をつくろう、という話が持ち上がりました。これは昨年度のOB総会で了承を得、愛唱歌はOBである六期の泉亜矢子さんと四期の中尾英雄さんに作詞・作曲をお願いして、今年度の夏の演奏会で演奏しました。記念誌に関しては、作成委員会を設けて記念誌作成にあたっており、今年度中に完成の見込みです。

さて、OB会活動の大きな柱である夏の演奏会ですが、今年は第十回目ということで、さきほど述べた愛唱歌の演奏の他に、演奏会終了後に毎年行っている現役生との交歓会を利用して、西高コーラス部の歴史を振り返る企画をしました。これまでのコンクールの映像や、クリスマス会などのイベント時のビデオを編集して上映したり、歴代の部長さんからコメントをいただいたりと、楽しい交歓会になりました。

続いてサマーキャンプは、昨年の八月十五、十六日に、塩江の奥の湯キャンプ場にて行われました。参加したのは十五人ぐらいで、やはり大學生がほとんどでしたが、やみ鍋ならぬ、やみカレー(?)をつくつたり、花火、肝だめしなど、思う存分はしゃぎました。

ところで昨年は、西高コーラス部の一つの大きな夢であった、全日本

合唱コンクールの全国大会への出場が実現した記念すべき年でもあります。そこで、これまた何か記念になるものを西高コーラス部に贈ろう、ということになり、OB会員に寄付を呼びかけています。集まった寄付金でどのような物を贈るかは、今年三月のOB会総会で話し合いたいと思っています。

今年に入ってまず最初のOB会活動は、毎年恒例の新年会で、一月三日仲見世で行われましたが、私達の隣りの座敷がなんと西高野球部のOBの方たちで、思わず偶然に驚いてしました。

今年度のOB会の活動は、まだ、三月のOB会総会と、現役生とのソフトボール大会があります。今年度は西高コーラス部にとって、いろいろな意味で大きな節目となりましたが、これからも地道な活動を続けていきたいと思っております。



「香川支部報告」

香川支部長 小柳雅俊（1期）

母校での入会式・新理事・代表代議員選出・総会開催・高松まつり盆踊りの参加・会報作成発刊と大きく3つのことをおこなっていますが、今回は新たに、はじめての大がかりな役員人事、ならびに11・12・13期の合同名簿の発刊を加えることになりました。

母校での入会式も、年々スムーズにおこなわれるようになりましたし、参加メンバーも多くなりました。総会は、毎年8月だったのをはじめて1月におこない、新たに合同同窓会を加え、大成功しました。高松まつり盆踊りの参加では、めでたく10回目となり、一つの節目をむかえることができました。会報作成発刊では、4号目となり、おそらく充実した内容にできあがることと思います。

役員人事としては、副会長に香川支部長である、小柳雅俊が、平成四年度より新任し、総会にて審議、承認されました。また、代表代議員として、1期山地英二、2期山下省吾、2期山本英之、3期明石享久、3期吉野正晃、4期山本幹雄（理事も併任）、9期乃村智仁の7名が新任され、総会にて報告しました。これにより、地元香川を中心に、実質的に動ける人を多くすることができます。11・12・13期生の合同名簿は、本来、毎年発行ですが、ここ3年間できておりませんでした。しかし実行委員の努力でようやく発行できました。

以上の報告は文章にすると簡単になりますが、会報・盆踊り・総会・名簿と実行委員会を何回となく、各会員の貴重な時間をさいて開いての結果で、もう少し詳しく報告したいくらいです。

今後は、理事、代表代議員の充実（決めたのが卒業時であり、1期か

ら10期くらいまでは社会人となっている現状をふまえて）改選・総会、合同同窓会のこれから開催方法・西風会設立15周年記念名簿に向けての名簿修正の充実をはかる等考えておりますので、みなさんの御協力・御意見をどしどしお願いします。

「東京支部活動報告」

東京支部幹事 氏家俊雄（1期）

早いもので、西高が誕生してから十六年が経ちました。その間に、多くの同窓生が、社会に旅立ちました。東京支部は、他支部の中で早く結成され、遠く故郷を離れた同窓生の一堂に会する場所を提供すべく努力し、過去に五回の支部総会（懇親会）を開きました。

しかし、現在、東京支部は開店休業中の状態です。というのも、東京支部幹事が、支部結成時と変わっておらず、後輩達の加入のないまま、古株だけで活動しており、なかなか話がまとまらない状況です。「今年こそは支部総会を」と思いながら、前回開催した総会から、少し間隔が空き過ぎてしまいました。

そこで、この「西風」の紙面をお借りして、今年の決意です。（有言実行の精神です。言うは易しの感もありますが。）

「今年こそは」支部総会を開催したいと思います。なかなか、気持ちがまとまりませんでしたが、こう書いておけば、自分自身の喚起の意にもなります。

高松で行なわれる西風会総会や、他の支部の活動のように、東京支部もがんばってみたいと思います。一度総会を再開すれば、そこまでまた、

新たな出会いが生まれ、同窓生の心のよりどころにもなるでしょう。ひいては西高、西風会の発展の一助になるやもしません。多くの方々に御迷惑をかけております。今後も何卒御支援の程、お願ひします。

高松市役所支部「新西会」報告

新西会副会長

山 下 省 吾

(2期)

今年の新西会は、例年どおり、4月に新入会員歓迎会(10人が今年新たに会員となりました)、11月に少し早めの忘年会を行いました。

さて、新西会も会員数が、73人にもなり、いろいろな問題点をかかえることになりました。まず一つは、新西会の行う行事(とは言つても新入会員歓迎会と忘年会だけではあります)への参加者の減少です。また、会費についても、毎回納めていただいている人も多数いますが、かなり滞納している人も多数いるのが現状です。そして、入会してからまだ一回も新西会行事に参加していない人もいます。こういった会員をこれからどのようにするかも検討しなければならない問題です。

このように、いろいろむずかしい問題点をかかえている新西会ではあります。ですが、会長以下役員一同、この新西会を盛り上げていきたいと考えております。

「株タダノ西高OB会紹介」

大川 依利子
(2期)

「出身高校は、高松西高です。」人事異動後の歓迎会で自己紹介したことがきっかけとなつた㈱タダノ西高OB会も年を経ることはや4年。そして、2期生3名、3期生1名、4期生3名、5期生6名、7期生8名、8期生4名、9期生3名の計28名と人数も増えました。

私の西高入学時も、先輩が2年生しかおらずどことなく心もとないけれど暖かい雰囲気でありましたが、このOB会のはじまりもそうでした。居酒屋の一つの机を囲んで、仕事のぐちを言いあいお酒を飲んでいたものですが、後輩が毎年入社してくるたびに西高の歴史が積み重ねられてきたことを実感しております。そして、卒業した今でも母校を身近に感じられ、自分の原点をいつも意識しつづけられている気がします。

また、㈱タダノでは様々な部署や関連会社があり、メンバーは営業あり、設計あり、総務ありとそれぞれの分野でがんばっています。そして、去年の11月末に会社の半分が志度工場の方に移動となりましたので、ますます仕事中に顔をあわすことは、少なくなつてきました。やはり、OB会は、職場の人間関係とは少し違う同種類の思い出をもつた人達の集まりですので、快地よい安心感をもつことができる気がします。(私だけではなく、他の人もそう感じてくれていればうれしいのですが・・・)めったに顔をあわさない人とバッタリ会つたりすると、「元気にしてる? 仕事は忙しい?」

とつい声をかけたくなってしまうのです。

私達のOB会の行事といえば、年に2回、新入社員歓迎会と新年会で集まるというごくシンプルなものが、仕事への思いを語るものもいればカラオケに興じて機嫌で飲んでいるものもいるという愉快なOB会です。メンバーが、やりがいのある仕事に熱中してその合い間に骨休みできる母校との接点・・・このOB会を大事に育んではいけばと思います。今年、そして近い将来㈱タダノグループに入社される方、楽しみに待っています。

西風会平成四年度活動記録一覽

							平成5年		
3 /13	3 /6	2 /28	2 /14	1 /17			1 /2	12 /27	12 /13
代議員会	於14十於14期一：期十二時{十二時}生會議室十代議員對面式十五分	於第6回會報作成委員會	於第5回會報作成委員會	於第4回會報作成委員會	於第4回會報作成委員會	於第12回同窓会	於第11回同窓会	十於第十八時{二十三時}吉野委員長宅	十於理第事34時{十二時}不二の屋
.....25 来名会総出席 年度修の反省会 予定手続会 打ち合せ知7 業理事出席窓命書授 内内容周知 代表代議員選出8 正名出席 14期版印刷準備 出席へ入会式で贈る予定7 發送時期を検討8 第1版印刷準備 スケジュール再確認1 3事業年度決算告 新任小柳副會長、 西風会へのアンケート実施 ゲームを含む懇親会 周年記念誌の販売1 3事業年度決算告 新任小柳副會長、 西風会へのアンケート実施 ゲームを含む懇親会 周年記念誌の販売6 ブゲ15返信、入金人數最終確定 ログム等準備役割分担 グラム最終確認↓印刷20 新4会総出席 年会報原稿に向け 度残稿り依け の活動計画再検討 会設立15周年名簿の件 見直し夏頃へ移行 (副会長、代表代議員)20 新4会総出席 年会報原稿に向け 度残稿り依け の活動計画再検討 会設立15周年名簿の件 見直し夏頃へ移行 (副会長、代表代議員)

平成 3 年度 会計決算

収入の部		支出の部	
入会金(13期)	1,742,400	総会費	225,064
年会費	752,860	会議費	182,659
総会費	136,000	通信費	1,219,863
雑収入	234,667	信刷費	560,683
15周年記念誌代	680,800	弔助費	57,000
		15周年記念事業費	70,000
		次年度繰越	1,065,852
合計	3,546,727	合計	165,606

平成 4 年度 会計予算

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越分	686,000	総会費	300,000
の取り崩し		会議費	250,000
入会金(14期)	1,764,000	通信費	1,800,000
年会費	1,000,000	信刷費	1,000,000
総会費	250,000	弔助費	50,000
		事務負担費	250,000
合計	3,700,000	合計	50,000

さる、平成五年一月一日、ホテルニューフロンティアにて開催された総会にて左記のとおり、平成 3 年度決算及び平成 4 年度予算が満場一致で可決承認されました。

西風会会計 弾正原紀之
西風会監事 谷本和也

平成 3 年度決算及び平成 4 年度予算報告

母校創立十五周年記念誌『蒼天』購入のご案内

一昨年十一月一日に、高松西高の創立十五周年記念事業の一環として、記念誌『蒼天』が刊行されました。編集委員の先生方のご尽力により、カラー写真を中心として西高の十五年の歴史と現在の姿が生き生きと描かれています。

西風会ではこの『蒼天』を二、三〇〇円（送料込）で会員の方々に販売してまいりましたが、現在二〇〇部程度の在庫があります。新たに購入を希望される方は、左記の要領でお申込み下さい。なお、部数に限りがありますので申込み先着順に発送させていただきますのでご了承下さい。

記

左の宛先まで定額（二、三〇〇円）を現金書留にてお送り下さい。

宛先 〒761 高松市鬼無町山口 257-1
香川県立高松西高等学校内
西風会母校十五周年記念事業協力委員会

大募集

～求む！スタッフ・原稿～

「原稿大募集」

同窓会報「西風」では下記のような記事を募集しています。

- ・身近な情報（子育て日記、社会人から後輩へのアドバイス、新婚さんからのメッセージ等なんでも）
- ・O B会、同窓会情報
(部活動の活動状況、PR、募集etc.)
- ・掲示板
(一口コメント、楽しい集いへのPR etc.) どしどしふるってお寄せ下さい。

「西風」編集スタッフ大募集

あなたも「西風」の編集に参加しませんか。アイデアいっぱいの彼、楽しくおしゃべりしたい彼女を募集しています。

明るい作成委員といっしょに「西風」を育てていきましょう。
製本されたときの充実感は格別です。

期間

10月～2月 ほぼ月1回だけ2時間程度
コーヒーとケーキ付／
(食事もあるよ)

* なお、寄稿とスタッフ募集についてのお問い合わせは

〒761 高松市生島町343の1 TEL (0878) 81-3327
小柳雅俊まで

「西風」第4号をお届けします。

この「西風」も発刊して、早くも四年が過ぎようとしています。その間会員の皆様方から、おおむね好評をいただいているようで、編集に携わる者として、このうえない喜びがあります。しかしながら、やはり年数がたつにつれ、内容のマンネリ化もそろそろでてくるのではないかと思われます。そこで、少しでも多くの会員の方からご意見を伺い、この「西風」をもっとよいものにしていきたいと考えておりますので、「このような記事を載せてほしい」とか、「ここはこう変えたほうがいい」とかいったご意見をどんどんお寄せください。

来年は、一つの節目となる第5号です。どうぞご期待ください。

編集後記

印 刷 発 行 所 発 行 人 編 集 人 平 成 五 年 三 月 六 日 発 行
石 田 印 刷 有 限 会 社 西 風 会 上 村 幸 司 山 下 省 吾 (2期)
(3期)

西風4号